

単元名 あつくなつたよ

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) いろいろな人々が公園を利用していることや、自然を利用したり遊ぶ物を作ったりすることの楽しさに気付くことができる。
- (2) 遊び方を工夫したり、自分が楽しんだ遊びや感じ取った自然の様子を考えたり、表現したりすることができる。
- (3) 四季の移り変わりに関心を持ち、自然や人々と関わりながら季節に応じた遊びを楽しもうとする。

標準的な展開例

01060105_001

【準備等】記録カード、汚れてもよい服装、タオル、水遊びのための道具（マヨネーズや食器洗剤などの空容器、じょうろ）、土遊びのための道具（スコップ、じょうろ、バケツ、プリンカップ）、シャボン玉の材料・道具（団扇、ハンガー、ストロー、洗濯洗剤）等

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 体全体で水や土を使って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏になって、自然や人々の生活の様子などで変わってきている点について話し合い、学習の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> 暑くなってきました。 学校の畑のヒマワリが咲いていました。 セミが鳴いています。クワガタもいます。 <p>★水を使って遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> 外でどんな遊びがしたいか話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 泥遊びがしたいです。 水鉄砲で的当てがしたいです。 遊びができる服装に着替えて、水や土で遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> マヨネーズの容器をぎゅっと押したら、水が遠くまで飛んだよ。 水はたっぷり入れた方が遠くまで飛ぶんだね。 誰が遠くまで飛ばせるか勝負しよう。 〇〇さんに教えてもらって、泥団子を作ったよ。 運動場に水で絵を描いてみたらすぐに消えちゃった。暑くて乾いてしまうのかな。 <p>4～5 道具を工夫したり、吹き方を工夫したりしながら、シャボン玉遊びを楽しむ。</p> <p>★いろいろな形のシャボン玉を作って遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> シャボン玉遊びのめあてを考える。 <ul style="list-style-type: none"> 大きいシャボン玉を作りたいな。 四角いハンガーを使ったら、四角いシャボン玉ができるのか試してみたいです。 安全面の約束をする。 おもしろいシャボン玉を作って遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> どっちが多くシャボン玉を作れるか勝負しよう。 高く飛ばすにはどんなコツがあるのかな。 大きなシャボン玉はどうやって作るのかな。 <p>6 楽しかった夏の遊びを振り返り、夏休みにやってみたいことを話し合う。</p> <p>★楽しかった遊びを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 水遊びや土遊び、シャボン玉遊びなど、楽しかった遊びを選んで記録カードにかく。 <ul style="list-style-type: none"> 団扇を使ったら、一度にたくさんのシャボン玉作れました。 〇〇くんが、水鉄砲はぎゅっと押したら遠くまで水が飛ぶことを教えてくれました。遠くに飛ばせて気持ちよかったです。 かいたことを伝え合う。 夏休みにやってみたいことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> セミを捕まえたいな。 泳げるようになりたいな。 夏休みに注意しなければならないことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 川や海で遊ぶときは、おうちの人から離れないようにしましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に家庭に呼びかけ、マヨネーズやケチャップなどの空容器や団扇、ハンガー等を集め学習環境を整えておく。 地域の実態に応じて、近くで水遊びができる安全な川や海があれば出かけてもよい。 春と夏を比べて気付いたことを問いかける。教科書P. 50～51を見て、日差しや空模様、植物や生き物などの気付きを促す。 この時期にできそうな遊びを問いかけて、めあての提示につなげる。 教科書P. 52～53を見ながら、水遊び、川遊び、土遊び、シャボン玉等ができることを想像させ、2つの活動の計画を立てる。 水着など、汚れてもよい服装で活動する。 マヨネーズやケチャップの空容器を持たせ、水を入れて遊ばせる。どうやったら遠くまで水を飛ばすことができるかは、教師が教えるのではなく児童同士で見付けられるようにする <p>【評】水や土遊びを通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> シャボン玉を作る道具は児童にとって身近である団扇やハンガー、ストローなど大きさの異なる輪や丸くない輪など、多様な物を用意し、様々な工夫ができるようにする。 道具を見せ、どんなシャボン玉ができそうか問いかける。 誤飲防止のために、ストローには小さな穴を開けておくといよい。 大きなシャボン玉を作る方法など、遊びを工夫する中で生まれた気付きを取り上げ、全体に広めることによって、夏の遊びを楽しもうとする姿が期待できる。 <p>【評】シャボン玉遊びを通して「知識・技能」「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 気付きを共有させることで、水を使って楽しく遊べることや、遊びを工夫する面白さや、水の性質の不思議さ、夏の自然に楽しく関わることができた自分や友達のよさに気付かせる。 教科書P. 54～55を見て、遊びたいことを想像したり気を付けることを確認したりする。 <p>【評】記録カードや伝え合いを通して「思考・判断・表現」を評価し、単元を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】